

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 こどもデイNICO		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童に多職種のスタッフが関わり、1対1の丁寧な支援を受けることが出来る。	・専門知識のある職員によるトレーニングができる。 ・その日の児童の状況に合わせた課題を選択することが出来る。	・個人個人に合わせた課題道具をさらに充実させる。 ・制作や室内活動の充実。
2	・土曜日や長期休暇中の外出などは多く、経験がたくさんできる。	・様々な場所に行き、経験が行えるようにしている。	・利用者のやりたいことや興味のある事をもとに活動を行う。
3	・個別の特性に合わせて対応ができる。	・活動でも個別の対応を行い、ストレスや不安を軽減できるようにしている。	・特性に合わせた環境づくりをさらに行う必要がある。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎がこども園の児童は先生方とは密に連携を図れるが、保護者との直接のやり取りが少ない。	・連絡帳や電話などでやりとりは出来ているが、細かい様子などはモニタリングでの情報共有となっている。	・親子で参加できる行事や保護者会などを通して交流できる場を増やしていく。
2	・段差や柱があり、活動時に怪我をする危険性が高い。	・戸建てのため構造上、段差や角が多くある。	・角にはクッションをする。段差には滑り止めシートを敷いて対応する。 ・張り紙などで注意喚起する。
3	・室内活動が多く、戸外活動が少ない。	・室内遊びのバリエーションが少ない。	・制作や戸外活動を行う時間を作るなど、職員同士で話し合っ決めていく。